

要があります。

NPAFCさけ・ます幼魚ワークショップの案内

本年10月下旬に、北太平洋の海洋科学に関する機関 (PICES) 年次会議が函館で開かれ、引き続き第8回NPAFC年次会議が東京で開催されます。これに併せて、NPAFCはPICESと共同でさけ・ます幼魚の海洋生態に関するワークショップを東京で開催することになりました。開催要領は下記の通りです。

[テーマ] 「さけ・ます幼魚の生産に影響する要因：北太平洋東部と西部におけるさけ・ます幼魚の生態の比較研究」

(NPAFC Workshop on Factors Affecting Production of Juvenile Salmon: Comparative Studies on Juvenile Salmon Ecology between the East and West North Pacific Ocean)

[トピックス]

- (1) さけ・ます幼魚に関する研究の総括
- (2) さけ・ます幼魚の海洋分布と回遊

(3) さけ・ます幼魚の生残、成長及び他の生態的側面に影響する要因

(4) さけ・ます幼魚に関する研究の将来

[開催日] 2000年10月29日

[開催場所] 海外漁業協力財団会議室 (東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル6階)

[発表形式] 英語による口頭発表 (質疑を含め1題20分) 及びポスター発表

[申込方法] 発表希望者は400ワード以内の英文要旨を4月30日までにNPAFC事務局へ送付する。応募された講演要旨の中から口頭発表 (約20題) を選考する。また、参加希望者は6月30日までに参加申込用紙をNPAFC事務局に送付する。NPAFCホームページからもワークショップの案内の入手と申込ができる。

[連絡申込先] NPAFC Secretariat, Suite 502, 889 West Pender Street, Vancouver, B.C., V6C 3B2, Canada

Fax, +1-604-775-5577; E-mail, secretariat@npafc.org; Web Site, <http://www.npafc.org/>

第15回日口漁業専門家・科学者会議

おおくま かずまさ
大熊 一正 (調査課主任研究官)

日口漁業合同委員会の合意に基づいて設置されるこの会議の第15回会議が昨年11月12日から20日までの9日間ロシア連邦ウラジオストク市にて開催されました (この会議の詳細はセンターニュース第3号の9ページをご参照下さい)。今回日本側からは北海道区水産研究所 (北水研) の小林時正 亜寒帯漁業資源部長を団長に11名が出席し、ロシア側からは太平洋科学調査・漁業センター (チンロセンター) のポチャロフ所長を団長として、17名の団員・専門家が出席しました。また、全体会議の他に例年どおり「浮魚」と「さけ・ます」の2つの分科会が設置され、さけ・ます分科会には日本側から石田行正北水研国際海洋資源研究官をチーフに、水産庁沿岸沖合課北洋班の二川和夫課長補佐、同漁場資源課の鈴木眞太郎資源技術調査官、さけ・ます資源管理センターの大熊、及び通訳の秀島敏男氏を加えた5名が、またロシア側からはチンロセンターのラドチェンコ副所長をチーフにカムチャツカ、サハリン、並びにハバロフスクのさけ・ます研究者ら合計9名が出席しました。

さけ・ます分科会では例年どおり、科学調査船により実施された共同調査及び国内計画に基づく調査結果、両国の研究機関等への相互訪問の際の意見交換の結果、極東系さけ・ます類の資源状態とその変動傾向、両国における人工再生産の概要、

2000年及び2001年の科学技術協力案、について討議を行いました。

科学技術協力案では、今まで行われてきた日本海での調査船による共同調査に代って、センター、北水研が希望していた秋季のオホーツク海でのさけ・ます類の幼魚調査が盛り込まれました。この調査を行うことにより日本系さけ・ます類幼魚の分布、移動、成長、生残等多くの知見が得られるものと期待されています。しかしながら、ロシアにおけるEEZ法 (200海里法) の施行に伴い、調査水域や入域に関して種々の制限が設定されるものと予想されており、日本側の希望どおりの調査を行うにはなお曲折がありそうです。

また、次期開催日程については、2000年は日本で開催することになっていますが、詳細な日程はこれまで開催の1ヶ月くらい前に双方で調整して決定していました。しかし本年はPICESやNPAFCの年次会議がほぼ同時期に日本で開催されるため、全体会議において11月6日から11月16日に開催することで双方の意見が一致しました。

最終日には慣例に従い議事録に日口双方の団長がイニシャルを記入 (ロシア側は当日ポチャロフ団長が不在のためラドチェンコ氏が代理) して会議を終了しました。